

一般質問とは

議員が町の一般事務に対し、その執行状況や将来の方針、政策 提言や行政課題等を執行者に直接質すものです。住民の代表である議員にだけ与えられた権利です。広川町では、1人あたりの持ち時間は答弁含めて60分です。



不登校対応

Q 不登校及び兆候人数は？
原因把握と対応はどうか？
A マンツーマンシートで
対応している

水落 文科省の調査によると、不登校の児童・生徒数は年々増加している。広川町の小・中学校の不登校及び不登校兆候の割合は、他の市町村と比較してどうか、また、その原因把握と対応をどのようにしているか。夏休み明けのこの時期、子どもたちの状況はどうか。

教育長 他市町村の情報が公表されていないので、残念ながら比較できない。令和4年度7月末までの状況は、小学生4人、中学生6人で、昨年度同時期と比べ小学校が1人増、中学生が1人減という状況である。不登校、不登校兆候の原因の把握は、いじめ・不登校調査のマンツーマンシートで実施している。シートに記載されている状況を確認し指導助言をして対応している。また専門的な観点から連携し早期発見、早期対応に努めている。夏休み明けの実態は十分に把握できていないが、夏休みが明ける前に不登校、不登校兆候にあった児童・



水落 龍彦 議員

生徒には電話連絡や家庭訪問を行っている。

水落 教育委員会の取り組みは県教育委員会の福岡アクション3からの取り組みか。

教育長 福岡アクション3を活用して取り組んでいる。

水落 福岡アクション3では学校に登校する目的ではなく、自立することをめざしていると考えてよいか。

教育長 中学校では自主学習室を設けて、自立を促す取り組みを行っている。

水落 不登校特例校で実施されている取り組みも参考にしたらどうか。

教育長 取り入れることが可能な面があれば取り入れていく

水落 不登校の子どもたちが、中学校を卒業してその先はどうなったのかの追跡調査を行い子どもたちの将来を見守ってもらいたい。